

第 1 1 回 愛川町議会意見交換会実施報告書

- 1 日 時 令和 6 年 5 月 1 1 日 (土)
午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 0 0 分まで
- 2 場 所 愛川町文化会館 3 階 大会議室
- 3 参 加 者 2 1 人
- 4 出 席 者 議 長 井出 一己 副議長 山中 正樹
議 員 井上 博明 議 員 小島総一郎
議 員 小林 敬子 議 員 渡辺 基
議 員 佐藤 りえ 議 員 鈴木 信一
議 員 岸上 敦子 議 員 阿部 隆之
議 員 茅 孝之 議 員 花上 功
議 員 熊坂健太郎
(以上、1 3 人)
- 5 欠 席 者 議 員 茅 大夢
- 6 内 容
(1) 各常任委員会の活動報告
(2) 意見交換
- 7 記 録
別紙のとおり

第 1 1 回愛川町議会意見交換会記録（要点筆記）

＜司会：鈴木 議員＞

（１）各常任委員会の活動報告について

- | | |
|-------------|-------------|
| ・ 総務建設常任委員会 | ＜報告者：井上 議員＞ |
| ・ 教育民生常任委員会 | ＜報告者：岸上 議員＞ |
| ・ 広報広聴常任委員会 | ＜報告者：熊坂 議員＞ |

（２）意見交換について

問 自治会加入率が非常に低くなっており、役員の担い手不足が深刻化しています。特に、災害時において民生委員だけでは対応できません。町も行政区の在り方について、より関与してください。

答 議会としても、自治会の加入率が激減していることについて、以前より一般質問等で取り上げていますが、歯止めがかからない現状です。

議員個々としても、近隣自治体の取り組み例を学び、議会として町に対し様々な提案を行うことで、町に自治会の運営に関与していただけるよう取り組んでいきます。

問 近年、定例会で一般質問を行っていない議員がいらっしゃいますが、一般質問は議員の仕事の一つだと考えており、議員全員が質問できるような仕組み作りをしてください。

答 町議会では、正副議長及び監査委員は一般質問を行わない、という考え方が不文律でありましたが、現在、その考え方の見直しについて議論を行っています。

問 各自治会の避難所運営のための予算がついておらず、予算がない状態で訓練を行うことを大変不便に感じています。本件について、議員の考え方を伺います。

答 防災については、指導をする立場の者が被災する場合もあり、誰かに従ってやっていくということは困難な状況となっています。国においても、「自主避難」という考え方の推進に移行しており、まずは基本的に自身で考えることが大切であると考えます。

問 自治会の加入率や、地域防災に係る問題は、町が多文化共生のまちづくりを推進し、外国籍住民の割合が高くなってきていることにも原因があると考えます。議会としては、町が推進する多文化共生のまちづくりについて賛同していますか。

答 外国籍の方が非常に多いということは議会としても認識しており、その方たちも一緒に、円滑な生活ができるように対応していく必要があると考えています。

問 観光・産業連携拠点づくり事業は、住民と議会と町長が三位一体となって進められるような仕組みを作っていただきたいと思いますが、議員の意見を伺います。

答 本事業は、負の遺産とならぬよう、町民に喜ばれる施設を作っていくことが重要です。そのためには、町民の知恵や意見を町政に反映できる機会を設けることが必要で、こうした機会を町へ要請します。

問 どのような切り口でもいいので、町の財政状況についてご教示願います。

答 令和6年4月号の「広報あいかわ」に町の予算の概要等が掲載されており、分かりやすくまとめられています。また、9月の決算議会閉会後に発行される町広報にも、前年度の決算状況が掲載されますので、ご参照いただければと思います。

【要望として受けとめさせていただいた意見等】

- ・ 町から自治会への配布物について、会員にはホームページを見られない方も多くいられるため、町の方で配布してください。
- ・ 町は防災士の資格取得への助成を行っているが、その成果が見えてこないため、その助成制度を無駄にしない仕組みを考えてください。
- ・ 自治会の避難所運営委員会について、議員皆さまにも一緒に参加していただき、現場の状況を把握してください。
- ・ 防災士も大切ですが、セーフティリーダーも忘れないでください。
- ・ 議員の中には、ホームページが更新されていないなど活動の様子が見えてこない方がおります。もっと SNS を活用するなど、活動状況が分かるように努めてください。
- ・ 町内の河川について、非常にごみが多いので、河原の利用を有料化するなど、対策を講じてください。

- ・ 愛川町の不登校の子どもの実態や、親の実態に関する集計を公表してください。
- ・ 地域脱炭素を推進してください。
- ・ 意見交換会はテーマを設けて開催してください。
- ・ 円滑に意見交換できるよう、質問を事前通告制とするなど、開催方法を工夫してください。

意見交換会の様子

